

笑いを楽しむ

班自主活動 適塾見学(2班)

10月3日(金)午後からは、班の自主活動で2班は適塾に行きました。

地下鉄御堂筋線の淀屋橋駅で降り、東の方へ5分ばかり行くと、ビルの谷間に瓦ぶきの屋根があって、「史跡 ✨ 緒方洪庵旧宅及塾」と書かれた碑。中に入ってみると、中庭とか窓枠とか狭さが心地よく、ワクワクしました。「昔の建物」特有の落ち着いた雰囲気を楽しめました。大阪のど真ん中にある、こんなのにのんびりできる所は他にはないと思いました。

適塾は緒方洪庵が開いた蘭学の塾です。

～みんなどうやって、蘭学の勉強をしたんだろう～

塾生は2階にある大部屋(32 畳)と小部屋(10 畳)で、寝起きし、勉強しました。オランダ語の辞書(ズーフ辞書)が置いてある部屋で、何人もの塾生が辞書を引いたり、写したりしていました。洪庵先生しかいないのに、適塾の教育はうまくいきました。塾生のうちで、よくできる者ができないものを教えたからです。

緒方洪庵は塾の先生だけでなく、医者として活躍。洪庵が気にかけていたのは、当時大流行していた天然痘を何とか予防したいということでした。洪庵は天然痘のワクチンを手に入れると、町の人々に予防接種を始めました。みんながこわがるので、予防接種の効果知らせるビラを配り、無料で接種し続けました。～がんばったのですね～ 適塾のすぐそばに、洪庵が予防接種を行っていた場所(除痘館跡の碑)があります。ここを拠点にして、洪庵はワクチンを全国に配り、天然痘の予防のために、力を尽くしました。ここでは、今でも、洪庵の子孫が病院を開いています。



班の方からのレクチャーで適塾、緒方洪庵について楽しく学べました。

(2班広報担当)